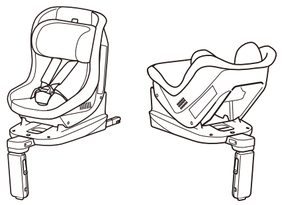
取扱説明書 ISOFIX固定式チャイルドシート

①JP

クイックガイド／目次

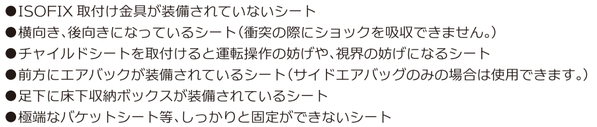
本製品の扱い方を △→○→□→⬠ の順で表示してあります。本体の表示とも連動しています。



はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

●この取扱説明書は、複数言語同梱されておりますので、ご自分で使いやすい言語を選び、取扱説明書ホルダーに挟んで、製品の取扱説明書保管位置に大切に保管してください。



D10 (140527)

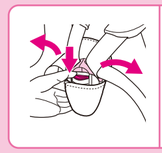
事前準備
1 ISOFIX とは
2 適合の確認
3 各部名称
4 CHECK 取付け向きの確認
5 ご使用上の警告／注意

お車に取付ける
ベースの取付け
1 サポートレッグを開く
2 ISOFIX コネクタを差し込む
3 サポートレッグを調節する
4 CHECK ベースの取付けを確認する
シートの取付け
5 シート取付けの準備
6 シートをベースに接続する
7 CHECK シートの取付けを確認する
8 オプションの取付け方

お子さまの乗せ降ろし
1 乗せる準備をする
2 お子さまを座らせる
3 お子さまを拘束する
4 CHECK 拘束ポイントを確認する
5 お子さまを降ろす

メンテナンス
1 お車から取外す
2 カバーを取外す
3 洗濯と日常のお手入れ
4 保管／廃棄の仕方

緊急時には‥ 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押し、タングをはずします。

幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。

バックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合は鋭利な刃物でベルトを切断してお子さまを救出してください。

表示マーク		
この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。	警告 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。	CHECK 確認 安全のため、かならず確認していただきたいこと。
	注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。	アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
	禁止 図示されている内容の禁止を示しています。	

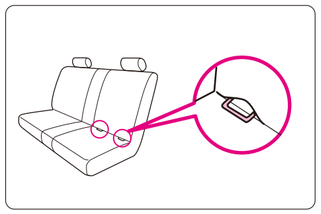
●お客様登録ハガキが付属している商品はチャイルドシート保険が付帯しております。ご購入後、かならず、必要事項をご記入の上、投函してください。
●保証書が付属している商品はメーカー保証が付帯しております。ご購入後、かならず、必要事項をご記入の上、レシートと一緒に保管してください。

事前準備

このステップでは、ご使用の前に確認して頂きたい重要ポイントや、基本的な使い方を説明します。

1 ISOFIX とは

本品は、ISO（国際標準化機構）がチャイルドシートの固定装置の大きさや取付け方法を統一した規格である「ISOFIX（アイソフィックス）」に準拠した製品です。
ISOFIX（アイソフィックス）とは、車のシートにチャイルドシートを固定する方式の国際標準規格の 1 つです。
これまで一般的だったシートベルトを使用する代わりに、車両シートに設置されたISOFIX 取付け金具でチャイルドシートを固定します。



2 適合の確認

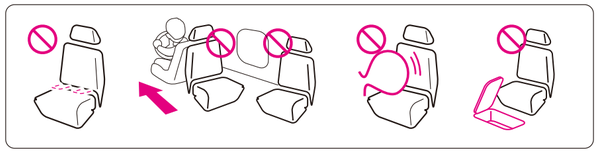
本品は「ISOFIX」（UN No.44/04 規則）に適合した製品ですが、ISOFIX 取付け金具を装備したすべての車に取付けられるものではありません。
本品は、各質量グループに対し、右の表のいずれかのサイズ等級、固定具が記されている車両に取付けることができます。
取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具
0+（~13kg）	D	ISO/R2
I（9~18kg）	B1	ISO/F2X

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできないシート

●ISOFIX 取付け金具が装備されていないシート
●横向き、後向きになっているシート（衝突の際にショックを吸収できません。）
●チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート
●前方にエアバックが装備されているシート（サイドエアバッグのみの場合は使用できます。）
●足下に床下収納ボックスが装備されているシート
●極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート



シートベルトでは絶対に取付けないでください。衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。

作業スペースの確保

●安全に取付け作業を行うため、次のように作業スペースを確保してください。
1 取付け作業は、ドアの全開開操作が可能な、平坦な場所で行ってください。
2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
3 チャイルドシートを取付ける車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

車種によってはシート背もたれを少し後に倒して取付けると作業しやすい場合があります。取付けたあとは標準の位置へ戻してください。

3 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。
※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。

シート

ベース

23：取付けガイド
24：インナーパッド
※一部商品によっては形状が異なります。

25：後向き専用日よけ
※一部商品によっては付属していないものもあります。
●取扱説明書ホルダー
●取扱説明書各言語
●お客様登録カード
●プライバシーシール
●製品保証書
※一部商品によっては付属していないものもあります。

4 CHECK 取付け向きの確認

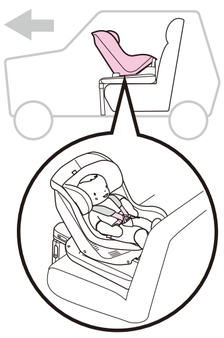
お子さまの体重に合わせ、「後向き」と「前向き」の２つの取付け向きで使用します。

●体重が 13kg 未満のお子さまには「後向き取付け」でご使用できます。
※身長のめやす：~80cm
※年齢のめやす：新生児~1 才半頃

●体重が 9kg 以上 18kg 以下のお子さまには「前向き取付け」でご使用できます。
※身長のめやす：70~105cm
※年齢のめやす：9 ヶ月~4 才頃

お子さまの体重が 9kg~13kg の場合はどちらのモードでもご使用できます。
後向きを推奨しますが、お子さまが嫌がるなど、正しく着座できない場合は、前向きでご使用ください。

~13kg



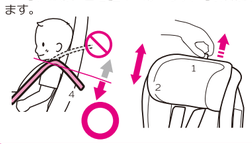
お子さまに合わせて調整する

1 インナーパッドの取付け

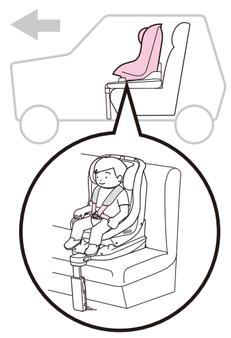
7kg以下の乳児（6か月ごろまで）は[24:インナーパッド]をセットする。

2 幼児ベルト高さの調節

[1：ヘッドアジャスタ]を引きながら、お子さまの肩と同じ高さか、やや下から[4：幼児ベルト]が出る位置に[2：ヘッドレスト]を調節します。



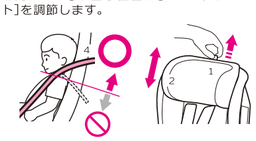
9kg~18kg



お子さまに合わせて調整する

幼児ベルト高さの調節

[1：ヘッドアジャスタ]を引きながら、お子さまの肩と同じ高さか、やや上から[4：幼児ベルト]が出る位置に[2：ヘッドレスト]を調節します。

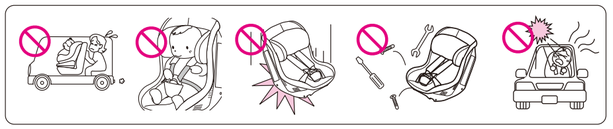


●お子さまの体重が 9kg を超えるまでは前向きで使用しないこと。
●「身長のめやす」や「年齢のめやす」は、あくまでもめやすです。もし身長や年齢が上記条件を満たしている場合でも、「体重条件」を満たしていないお子さまは、そのモードではご使用できません。
●お子さまを座らせたとき、後頭部がヘッドレストの上から出ないこと。

5 ご使用上の警告／注意

記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。
●お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
●腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
●車両座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
●チャイルドシートのバックルをはずしたままでのご使用は危険ですので絶対におやめください。
●後部座席に人が乗る場合の 1BOX 車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けないでください。
●お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタングがバックルからはずれていないことを確認してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
●チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。
●お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートは車両から取外してトランクに収納しておくか、取扱説明書通りに取付けておいてください。
●チャイルドシートを改造したり、カバー類・ウレタンなどを取外して使用しないでください。
●シートカバーを外しての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。）
●車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けないでください。しっかり固定されません。
●お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。
●保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
●運転中にチャイルドシートの操作（ベルト調節などの操作）をしないでください。
●新生児（生後 1 ヶ月未満）にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。また、お子さまの負担を考え 1 時間以上連続して使用しないでください。



記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

●お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態で行ってください。）
●チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取付け・取外しはしないでください。
●お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートの端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
●お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
●衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。
●車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。
●可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにチャイルドシートを取付けてください。
●チャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。
●チャイルドシートを車両以外ではご使用しないでください。
●チャイルドシートを取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。

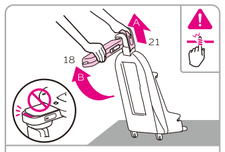
お車に取付ける

このステップでは、チャイルドシートをお車に取付ける方法を説明します。ベースをお車の ISOFIX 取付け金具に接続させた後で、シートをベースに取付けます。シートはお子さまの体重によって取付け向きが異なります。

1 サポートレッグを開く

A［21:SL開閉ボタン］を引いて、
B［18：サポートレッグ］を開く。

SL 開閉ボタンの赤色ラベルが見えなくなるまでサポートレッグを開いてください。

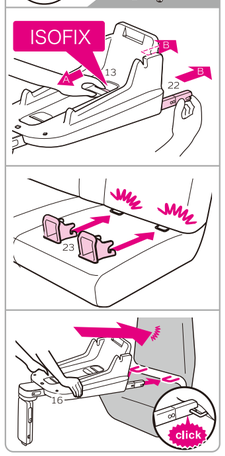


2 ISOFIX コネクタを差し込む

A［13：ISOFIX ボタン］を押しながら
B 左右の［22：ISOFIX コネクタ］を片方ずつ最大限引き伸ばす。

［23：取付けガイド］を使うことで、チャイルドシートを取付けやすくします。車両座席によっては、取付けガイドが使用できない場合があります。

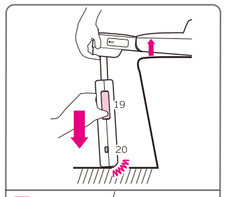
C 左右の ISOFIX コネクタを車両座席の ISOFIX 取付け金具に片方ずつゆっくりと接続し、背もたれにしっかりと当たるまで押し込む。
※［16:ISOFIX 接続表示］が「赤色」から「緑色」に変わります。うまくいかないときは、もう一度 ISOFIX コネクタを引き伸ばしてください。



3 サポートレッグを調節する

左右の［19：SL 調節ボタン］を押しながら、サポートレッグの先端が車両の床面に接するように長さを調節する。
※［20:SL 接地表示］が「赤色」から「緑色」に変わります。

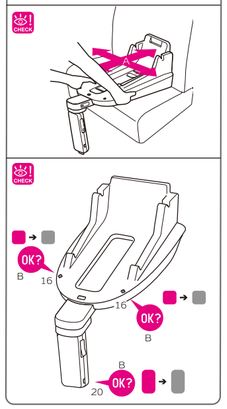
長さが合わない場合はベース前方を少し持ち上げて、1段階長めに伸ばしてください。



4 CHECK ベースの取付けを確認する

A ベースがしっかり取付けられ、ぐらつきがない事を、前後左右にゆすり、確認する。
ぐらつきがあるときは、ISOFIX ボタンを押して、初めからやり直す。

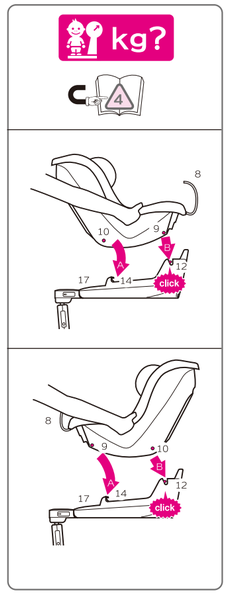
B 左右の［16:ISOFIX 接続表示］と［20:SL 接地表示］が「緑色」になっていることを確認する。



●ISOFIX コネクタの接続、サポートレッグの調節は必ず正しく操作してください。これらが正しく操作されていないと、衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。

5 シート取付けの準備

本紙裏面を参考に取付け向きを確認する。
ベースの上に物がない事を確認してください。



6 シートをベースに接続する

●後向きの取付け方
A 左右の［10: 後ろシャフト］と［14：前シートロック］をそれぞれ重ね、上から押し込む。

B そのまま左右の［9: 前シャフト］と［12：後ろシートロック］を合わせ上から押し込む。
※［17: シート接続表示］が「赤色」から「緑色」に変わります。

●前向きの取付け方
A 左右の［9: 前シャフト］と［14：前シートロック］をそれぞれ重ね、上から押し込む。

B そのまま左右の［10: 後ろシャフト］と［12：後ろシートロック］を合わせ上から押し込む。
※［17: シート接続表示］が「赤色」から「緑色」に変わります。

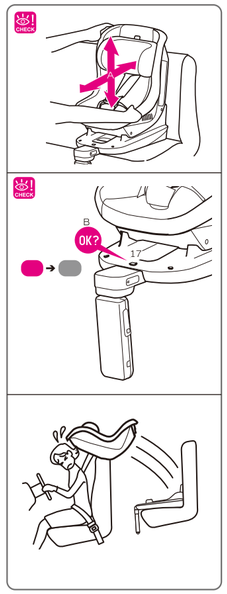
［8：アジャストベルト］がはさまれないように注意してください。

7 CHECK シートの取付けを確認する

A シートがしっかり取付けられ、ぐらつきがない事を、持ち上げたり、前後にゆすり、確認する。
ぐらつきがあるときは、再度取付けをやり直す。
※ベース前方が上に持ち上がるのは問題ありません。

B［17：シート接続表示］が「緑色」になっている事を確認する。

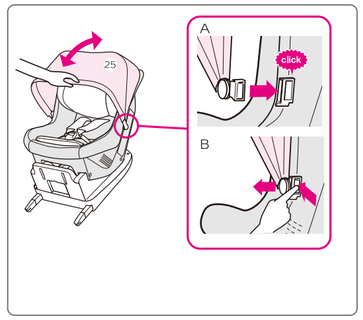
●全てのシャフトとシートロックを正しく接続してください。これらが正しく接続されていないと、衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。



8 オプションの取付け方

機種によっては［25:後向き専用日よけ］が装備されています。
A 取付け方
日よけ両側のコネクタ部をそれぞれシート両側面にあるコネクタ受け部に「カチッ」と音がするまで差込む。日よけの前端をもち、ゆっくりと開閉する。
B 取外し方
日よけをたたみ、ロックを押しながら日よけコネクタ部を引き抜く。

●日よけは後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な傷害を負う可能性があります。



うまくいかない時は。。

●SL 開閉ボタンが動かない。
→サポートレッグの根元に負荷が掛かっているとボタンが重くなります。サポートレッグを手で持ちながら、SL 開閉ボタンを引いてください。

●ISOFIX 接続表示が緑色に変わらない。
→車両の ISOFIX 取付金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、左右片方ずつゆっくり押し込んでください。

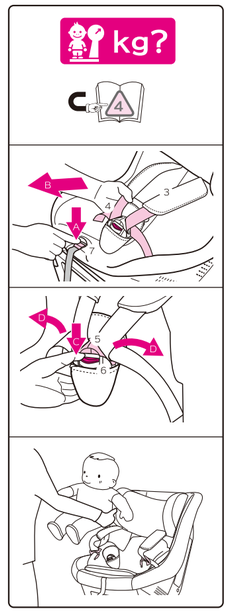
●シート接続表示が緑色に変わらない。
→車両シートの背もたれやヘッドレストが干渉している、またはシートロックに異物が挟まっているなどの可能性があります。お確かめください。

お子さまの乗せ降ろし

このステップでは、お子さまをチャイルドシートに乗せる方法を説明します。お子さまの体型にあわせて着座スペースを調節し、股 / 両腰 / 両肩にベルトを通し、バックルでしっかりと拘束します。

1 乗せる準備をする

本紙裏面を参考に取付け向きを確認し、お子さまにあわせて着座スペースを調整する。



A［7：アジャスタレバー］の奥側を押しながら、
B 左右の［4：幼児ベルト］を手前に引き出す。

［3:肩ベルトカバー］ではなく、幼児ベルトを引いてください。

C［6：バックル］の赤いボタンを押して［5：タング］をはずす。
D 幼児ベルトを左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。

夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。

2 お子さまを座らせる

バックルがお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまををシートの奥深くに座らせる。

正座しないようにしてください。

3 お子さまを拘束する

A お子さまの腕を幼児ベルトに通す。
B 左右のタングを重ね合わせて、『カチッ』と音がするまでバックルに差し込む。

C 幼児ベルトをお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、［8：アジャストベルト］をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。

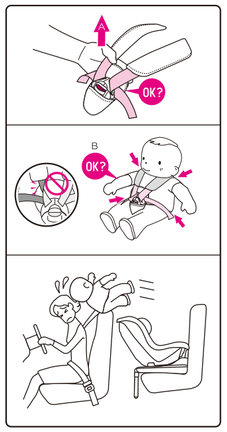
●幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。

4 CHECK 拘束ポイントを確認する

A 幼児ベルトを引っ張って、バックルやベルトがゆるまないか確認する。

B 幼児ベルトがねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨のできるだけ低い位置を通っているか確認する。

●お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時などに重大な傷害を負う可能性があります。
●バックルに異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
●お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。
●かさばる服を着せた状態で、チャイルドシートに座らせないでください。
●幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。



5 お子さまを降ろす

A アジャスタレバーの奥側を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
このとき、［3:肩ベルトカバー］を引かないように注意してください。

B バックルの赤いボタンを押してタングをはずす。
C 幼児ベルトを左右に開く。

D お子さまの腕を幼児ベルトから外し、お子さまをチャイルドシートから降ろす。

緊急時にバックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合は鋭利な刃物でベルトを切断してお子さまを救出してください。

うまくいかない時は。。

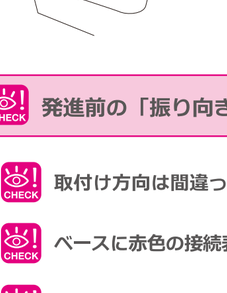
●バックルの赤いボタンが固くて押せない。
→お子さまが誤って解除できないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。

●幼児ベルトが短い。
→幼児ベルトをしっかり引き出しきれていない可能性があります。アジャスタレバーの奥側を押し込んで、ベルトを引き出してください。

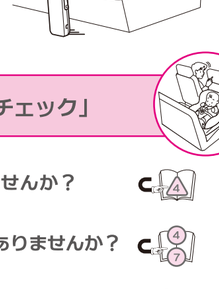
●バックルのタングがはまらない。
→タングは左右別々の状態でははまりません。左右のタングを重ねてからバックルに差し込んでください。裏表に注意してください。

使用イメージ

~13kg



9kg~18kg



CHECK 発進前の「振り向き３点チェック」

CHECK 取付け方向は間違っていませんか？ 4

CHECK ベースに赤色の接続表示はありませんか？ 4 7

CHECK 幼児ベルトはゆるんでいませんか？ 4

メンテナンス

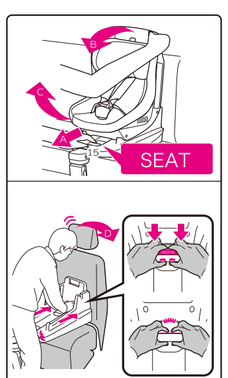
このステップでは、お車からの取外し方、カバー等の洗濯の仕方、保管の仕方等を説明します。

1 お車から取外す

A ロックレバーと一緒に［15：シートボタン］を押しながら、
B シートの上部を手前に起こす。
C 後ろシートロックが解除されたのを確認し、シート全体を持ち上げる。

D 車両座席のリクライニングを倒し、ベースを車両シートに押し付けながら、「ISOFIX」の文字が見えなくなるまで強い力でボタンを押し切る。

しっかり取付けると、ISOFIX ボタンが固くなります。無理に引き抜こうとせず、「カチッ」というまで両手でボタンを確実に押し切ってください。



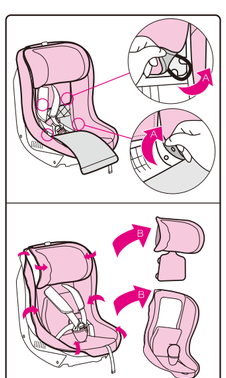
2 カバーを取外す

A ヘッドレストカバーやシートカバーそれぞれを留めているゴムやホックを外す。

最初の留め位置を覚えておいてください。商品により、留め方が異なります。

B バックルのタングを外しヘッドレストカバーとシートカバーそれぞれを上部から外周をめくるように外す。

商品により、シートとカバー類の間にウレタンなどのクッションがあります。



C 肩ベルトカバーを開き、肩ベルトカバーと幼児ベルトを分離する。

●取付けの際には、滑り止め面を下にしてください。
●取付けの際にはベルトがねじれないようにしてください。

D シート背面から肩ベルトカバーを引っ張り、左右片方ずつシートから引き抜く。

カバーの取付けは逆の手順で行います。

3 洗濯と日常のお手入れ

シートカバーなどの縫製品の洗い方

●中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
●脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
●インナーパッドはウレタンを取り出してから洗濯してください。

蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。
塩素系漂白剤、洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

日常のお手入れ方法

●樹脂部やウレタンは水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
●掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
●飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
●部品の取り寄せは型式と品番を確認し、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。
●シートカバーを外しての使用、または専用カバーやクッション材以外での使用はしないでください。

4 保管／廃棄の仕方

保管

●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。
サポートレッグは、6 段ほど伸ばし、折り畳んでください。ベース裏側のくぼみに収納できます。

廃棄

●お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品サイズ　W430×D635×H630mm（サポートレッグを除く）
材　質　　本　　体…PP、ウレタン
　　シートカバー…表／ポリエステル　裏／ウレタン